

令和8年度（地域間幹線系統）生活交通確保計画について

1 概要

北部循環コースは、地域間幹線系統（複数市町村をまたがる広域的なバス路線かつ一定の基準を満たす路線）として、地域間幹線系統確保維持費国庫補助金の交付を受けています。この度、令和8年度（対象期間は、令和7年10月1日から令和8年9月30日まで）の地域間幹線系統の位置付けに必要な生活交通確保計画（資料5－2）を策定し、愛知県公共交通協議会に提出したため、地域公共交通会議で報告するものです。

2 主な内容

(1) 路線の特性及び利用者の特徴

- ・令和2年4月1日から、北部循環コースに路線を再編し、東海市の南加木屋駅に乗り入れるルートに見直し、同年9月24日から、阿久比町のカネスエ阿久比店にバス停を新設し、乗り入れを開始しました。
- ・令和7年10月には、北部循環コース系統1の車両をEV車に更新するとともに、ダイヤの見直しを行います。
- ・公立西知多総合病院への通院、知多翔洋高校生の通学、名鉄朝倉駅、寺本駅、巽ヶ丘駅、南加木屋駅への利用の需要が見込めるほか、自動車を所持していない高齢者や女性等の買い物利用等を見込んでいます。

(2) 輸送サービスの利用促進計画

ア 利用者数の目標

年間利用者数 67,200人（昨年度比1%の増）

イ 利用促進策

- ・ダイヤの見直しに合わせたバスマップの更新及び全戸配布
- ・GTF Sやバスロケーションシステムにより運行情報を周知など



↑ あいあいバスのバスマップ

3 スケジュール

提出した生活交通確保計画は、愛知県公共交通協議会から国へ提出されます。国の承認を得ることにより、国庫補助の対象として認められる見込みです。

令和８年度 知多市北部循環コースに係る生活交通確保計画

市町村名： 知多市

1. 輸送サービスの範囲

(1) 利用对象地域

知多市八幡地区、つつじが丘地区、東部地区、佐布里地区、新知地区

(2) 利用数 (現在: 令和 7 年度 (見込))

令和7年度：66,600人、令和8年度：67,200人
令和9年度：67,800人、令和10年度：68,400人

(3) 路線の特性及び利用者の特徴

・令和2年4月1日から、従来の北部コースと東部コースを統合し、循環路線とした北部循環コースに路線を再編した。主な再編内容として、沿線住民の移動ニーズ、生活圏を考慮し、東海市の南加木屋駅に乗り入れるルートとするなどの見直しをした。

・令和2年9月24日から、阿久比町のカネスエ阿久比店のバス停に乗り入れを開始し、令和6年3月1日には、ルート上に「アクアマリンプラザ東」、「平野」バス停を新設した。

・令和7年10月には、北部循環コース（系統1）の車両をEV車へ更新するとともにダイヤを一部改正する。

・公立西知多総合病院への通院需要、知多翔洋高校生の通学需要、名鉄朝倉駅、寺本駅、巽ヶ丘駅、南加木屋駅利用者の需要が見込めるほか、自動車を持していない高齢者や女性等の買い物利用等を見込んでいる。

(4) 路線の必要性

市内における公共交通空白地域の解消のほか、商業施設が無い沿線地域住民や交通弱者である高齢者や障害者等の日常生活の移動手段として利用されている。また、隣接する東海市は、本市と東海市の公立病院である西知多総合病院が立地していることや、本市東部の東海市に近い地域は東海市の南加木屋駅周辺を最寄り駅や生活圏としていることなど、本市との結びつきが強いことから、本路線により通院する者の移動手段が確保されることや、地域住民の日常生活に必要な広域的な移動手段の確保、維持につながる。加えて、本路線が東海市のらんらんバスと接続することで、乗り継ぎやバスを相互利用する機会が増えることから、両市の公共交通ネットワークの強化となる。

2. 輸送サービスの形態

コミュニティバス

3. 輸送サービスの水準

区分	系統名	運行系統			系統 キロ程	1日当たり 計画運行回数		運行時間帯	備考	
		起点	主な経由地	終点		関係市町村キロ程				
計画 (R7.10)	北部循環コース	朝倉駅	西知多総合 病院	朝倉駅	循環 27.1	知多市	循環 22.0	9.8	8:02 ~ 18:45	
						東海市	循環 4.6			
						阿久比町	循環 0.5			

4. 輸送サービスの提供主体及びその理由

知多乗合株式会社
別系統のコミュニティバス業務を受託しており、運行管理上のノウハウ、経験の蓄積があるため。

5. 輸送サービスの提供主体及びその理由

区分	系統名	1日 当たり計 画運 行回 数	計画 平均 乗 車密 度 (人)	計画輸送量(人) 1日当たり計画運行回数 ×計画平均乗車密度 《A×B》	キロ当 たり経 常費 用 (円) C	当系統 キロ 当 たり 経 常 収 益 (円) D	計画実 車 走 行 キ ロ (km) E	経常費用 (千円) F 《C×E》	経常収益 (千円) G 《D×E》	欠損見込額 (千円) H 《F－G》	負担者別内訳			
											国 (千円)	県 (千円)	市町村 (千円)	事業者 (千円)
計画 (R7.10)	北部循環コース	9.8	2.9	28.4	407.92	35.29	97,289.0	39,686	3,433	36,253	4,556		31,697	
	(現行からの変更点)													

6. 輸送サービスの利用促進計画

(1) 利用者数の目標

区分	7年度(見込)	8年度	9年度	10年度
年間利用者数(人)	66,600	67,200	67,800	68,400
※上記目標設定の考え方	年1%の利用者の増を目標とした。			

(2) 利用促進策

区分	利用促進策の内容
8年度 9年度 10年度	・10月のダイヤ改正に合わせて時刻表を全戸配布 ・主要施設への時刻表の配架 ・ホームページに沿線市町のコミュニティバスのリンクを記載 ・G T F S化したバス情報をオープンデータとして乗り継ぎ案内サイトへ提供 ・バスロケーションシステムの運用 ・バスの乗り方教室等の出前講座の開催 ・東海市コミュニティバスとの乗継拠点となる公立西知多総合病院内に設置したデジタルサイネージの運用を継続

(3) 事業の効果

区分	事業効果の内容
8年度 9年度 10年度	本路線の維持により、東海市にある公立西知多総合病院への通院客の交通手段が確保される。また、沿線地区の住民には、本路線により市の西部や近隣市町へ通院、買い物に出かけることが可能になるなど、市民の日常生活に必要な移動手段が確保される。

(4) 令和6年度事業評価結果を踏まえた取組等

・バスロケーションシステムの運用によるバス利便性の向上とシステム導入の積極的なPR実施 ・バスの乗り方教室の開催などによるバスの利用方法の啓発

7. 収支改善計画（生産性向上の取組）

(1) 8年度の生産性向上の取組

	運営主体	沿線市町村①		沿線市町村②		沿線市町村③	
		市町村名	東海市	市町村名	阿久比町	市町村名	
取組 経費削減策等	・10月のダイヤ改正に合わせて時刻表を全戸配布 ・主要施設への時刻表の配架 ・ホームページに沿線市町のコミュニティバスのリンクを記載 ・G T F S化したバス情報をオープンデータとして乗り継ぎ案内サイトへ提供 ・バスロケーションシステムの運用 ・バスの乗り方教室等の出前講座の開催 ・東海市コミュニティバスとの乗継拠点となる公立西知多総合病院内に設置したデジタルサイネージの運用を継続		・ホームページでの相互リンク等によりPRする。 ・市役所等で相互の時刻表を配架する。 ・循環バスとあいあいバスの乗り継ぎ拠点となる公立西知多総合病院の施設内に設置したデジタルサイネージの運用を継続する。		・町役場等での時刻表の配架 ・知多市及び東浦町の時刻表を窓口において配架。		
スケジュール等	随時		随時		随時		

(2) 定量的な効果目標

指標	収支改善率 1 %
----	-----------

【参考】経常収支率				
4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
6.0%	6.3%	6.7%		